

工事見直し求め要望書

嘉徳海岸護岸整備計画 日本生態学会など

【鹿児島総局】県が瀬戸内町の嘉徳海岸で進める浸食対策の護岸整備計画について、日本生態学会と日本ペンタス学会、日本魚類学会が30日までに、工事の見直しと科学的モニタリングを求める要望書を連名で県と県議会宛てに送付した。要望書では、嘉徳川下流

域と嘉徳浜が世界自然遺産区域を保全する上で重要な「緩衝地帯」に編入され、嘉徳川はリュウキュウアユやスジエビといった希少な生き物の生息地にもなっていることから、工事が生態系に影響を与え、自然遺産としての資産価値や観光資源価値を大きく損ない、世界自然遺産登録の抹消にもつながる懸念がある、などと指摘した。

3学会は2018年9月にも、工事の見直しを求める要望書を県知事と県議会議長に提出している。

嘉徳海岸は14年の台風

両陛下、大雪

被害に見舞金



全国都市緑化祭に向けて、チハラザクラの苗木を植えられる秋篠宮家の次女佳子さま＝4日、東京都港区の赤坂御用地（宮内庁提供）

18、19号で砂丘が削られたとして、集落と町が県に対策を要望。県は護岸整備を決定し、工事用道路の設置作業を今年2月から開始した。護岸整備をめぐる反対する住民もあり、現場では工事見直しを求めて抗議活動が行われている。

補正予算など

伊

【徳之島総局】伊仙町議会は30日、第2回臨時会を開き、町堆肥センターの管理者指定や役場新庁舎建設の工事請負契約変更、2021年度一般会計補正予算（第8号）など5議案を可決した。

町堆肥センター指定管理者の指定は3月定例会で否決されたため、町は再度公